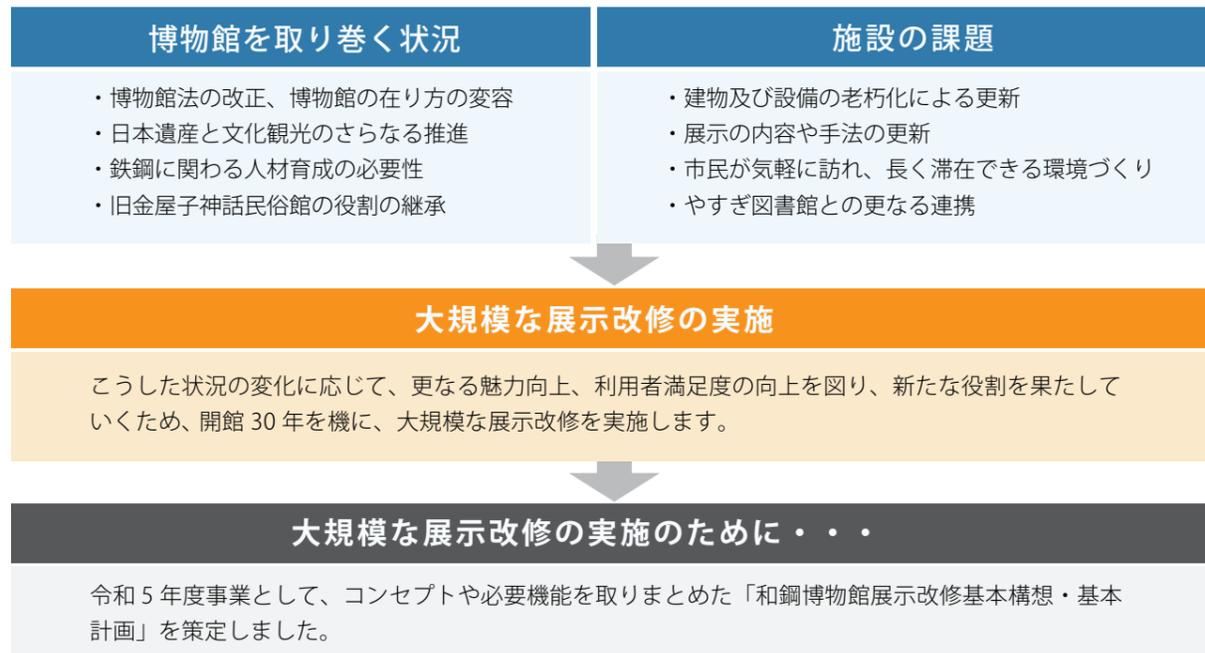


# 新和鋼博物館展示改修基本構想・基本計画

## 【概要版】

令和6年3月  
安来市教育委員会

基本構想・基本計画策定の経緯



展示改修基本構想

■ 基本理念

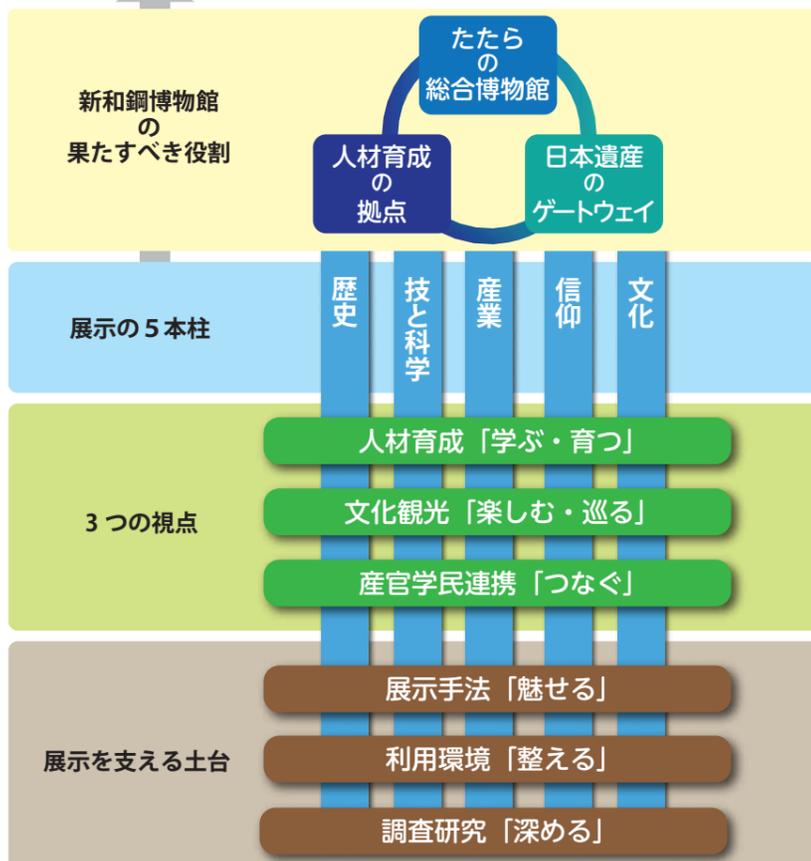
「感動！ 行動！ <sup>ここ</sup>和鋼博物館から始める たたら旅」

安来をはじめ山陰の歴史や文化、そして未来を語る上で欠くことの出来ない「たたら製鉄」。和鋼博物館は、たたら「知」が集積される“たたら総合博物館”。たたらに込められたモノづくりの技と精神に触れ、それにより育まれた文化を体感することで、地域を探索する、学ぶ、働くなど、人々にあらゆる行動を巻き起こす。さあ、和鋼博物館から、「たたらと交わる人生の旅」に、出かけよう！

■ 果たすべき役割

たたら総合博物館	たたら製鉄の魅力を再発掘し、多様な側面からたたらを語る
人材育成の拠点	鉄鋼に関わる人材を育成する たたら製鉄をキーワードに様々な活動をする人々を支援する
日本遺産のゲートウェイ	「出雲國たたら風土記」のストーリーと多様な観光情報を広く発信する

「感動！ 行動！ <sup>ここ</sup>和鋼博物館から始める たたら旅」



展示改修基本構想イメージ図

■ 展示の5本柱

基本理念及び果たすべき役割を実現するために、新たな展示において、歴史・技と科学・産業・信仰・文化からなる5本の柱を設定し、たたら製鉄とそれを由来とする文化遺産について理解促進を図ります。

歴史

技と科学

産業

信仰

文化



■ 3つの視点

人材育成

「学ぶ・育つ」

- 技と科学の面白さに触れ興味を抱ききっかけを作ります。
- 鉄鋼関連の職業を担う人材を育成し、たたら製鉄をキーワードに活動する人々を支援します。
- 安来で生きていくことをよりポジティブな印象に変え、地域の担い手育成を目指します。

文化観光

「楽しむ・巡る」

- 鉄の道文化圏の中核施設として、たたら製鉄とそれを由来とする文化遺産の魅力を伝えます。
- 安来の町並みや金屋子神社、棚田の景観、菅谷たたらなどたたら製鉄ゆかりの各所への周遊を促します。
- 地域全体で、たたら製鉄の文化への理解を深め、楽しんでいただくことを目指します。

産官学民連携

「つなぐ」

- 展示改修では、産官学民の様々な関係先とつながり、多様な人々の学習に役立てられるよう努めます。
- 展示における企業や研究者との連携、市民展示解説員の導入など様々な人々との関わりを重視します。

■ 展示を支える土台

展示手法 「魅せる」

特徴がよく伝わり、誰にとっても分かりやすい展示を目指します。

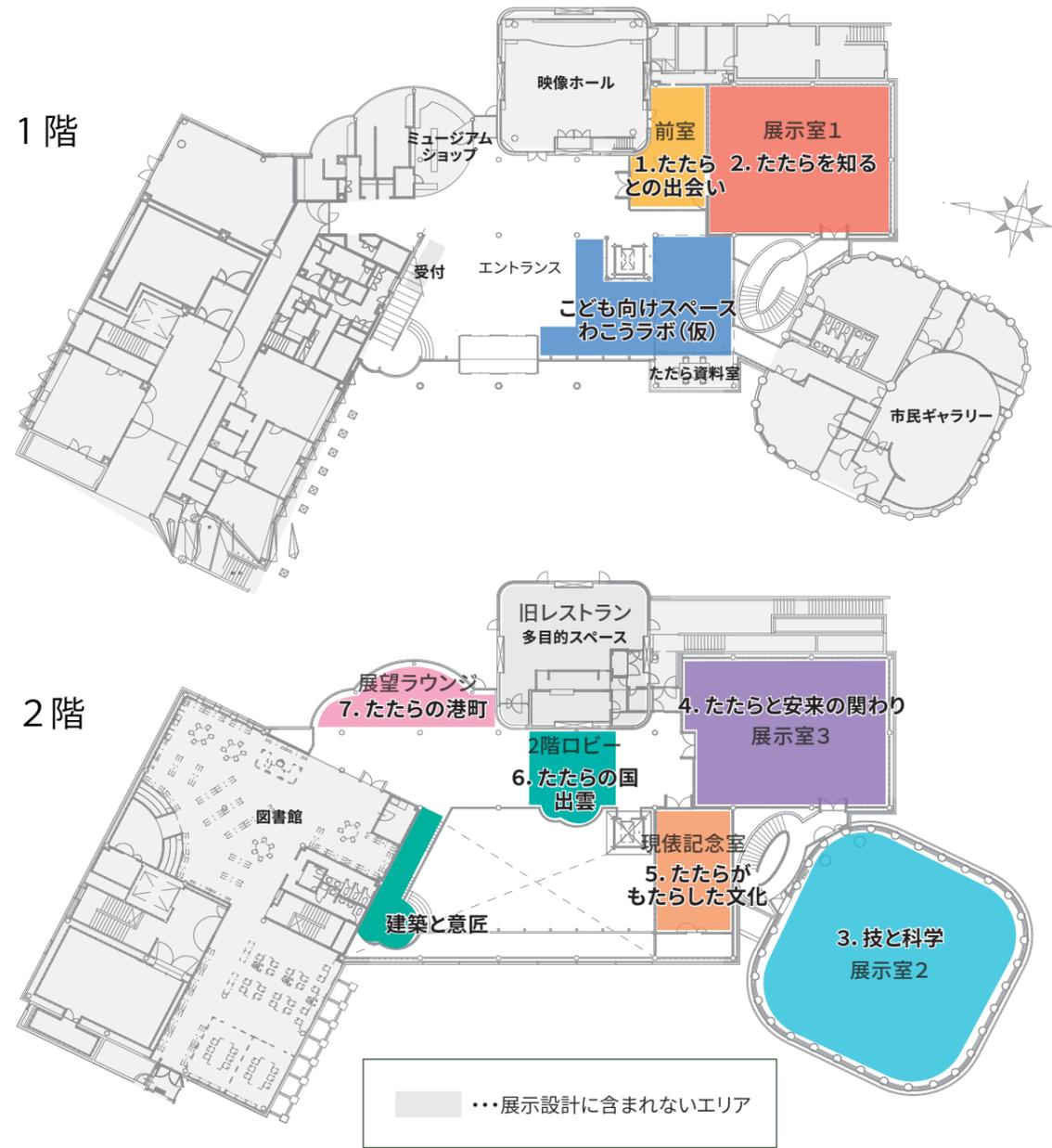
利用環境 「整える」

飲食、休憩、読書、団らんなど多目的に利用できる施設を目指します。

調査研究 「深める」

たたら製鉄及び関連資料の調査研究成果を展示活動に活かし、広く公開します。

展示改修基本計画



事業スケジュール

令和9年度の展示改修（展示製作）完了を目指し、令和5年度に基本構想・基本計画を策定、令和6年度に基本設計を策定、令和7年度に実施設計を策定する予定です。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
展示改修	基本構想・計画	基本設計	実施設計	展示施工	リニューアルオープン	適宜改善
建物設備改修	長寿命化計画作成	一部施工	実施設計 一部施工	実施設計 施工		長寿命化計画に従い 維持管理（施工）

常設展示

和鋼博物館のテーマである、出雲地域の特徴を伝える個性豊かな文化遺産「たたら製鉄」について、親しみを持てるよう、歴史・技と科学・産業・信仰・文化の視点から紹介します。

諸室の展示構成

1 たたらとの出会い

象徴的な資料（玉鋼・風景写真・たたら製鉄の文化）を通して、たたら製鉄のイメージを紹介します。



2 たたらを知る

たたら製鉄の始まりから現在までの歴史、たたら製鉄を構成する要素、作業場所と設備、操業とその製品など、たたら製鉄の概要を、豊富な資料と模型などで紹介します。



3 技と科学

たたら製鉄と日本刀、現在の鉄鋼を技と科学の視点を交えて紹介します。また、持つ・触る・聞くなどの体験の導入や、人気の高い日本刀体験の更なる磨き上げを行います。

4 たたらと安来の関わり

安来地域と関わりが深く、町を特徴づけてきた産業でもあるたたら製鉄。近世期における山間部での鉄生産、その鉄製品の流通や近代以降の特殊鋼生産を紹介します。

5 たたらがもたらした文化

たたら経営者や鉄問屋などによる、たたら製鉄の経済的な繁栄がもたらした豊かな文化を紹介します。



6 たたらの国・出雲

日本遺産「出雲国たたら風土記」のストーリーと文化観光情報を伝えます。

7 たたらの港町

安来港と十神山の眺望により、江戸時代から明治時代にかけて鉄を運ぶ船が盛んに行き交った中海の情景を紹介します。



その他の展示計画

改 テーマ展示の導入

誰もが親しみやすいよう、決まった順路を設けず、来館者が自由に気になったテーマから見学できるようにします。

改 分かりやすい展示解説

解説パネルは、中学生が理解できることを指標とし、図表や模式図、イラストを用いて来館者の理解を促進します。デジタル、映像・情報機器・ユニバーサル対応などを推進します。

改 企画展示

博物館の調査研究成果を様々な切り口で紹介します。また、他館や産官学民連携により、ニーズをとらえ、来館するきっかけとなる企画展を開催します。

新 わこうラボ（こども向け体験スペース）

小さなこどもを対象に、鉄を身近に体感できる展示空間を新設します。体を使って遊びながら鉄に関わる不思議を体感出来る空間を目指します。また、常設展の概要もこども向けの簡便な表現で紹介します。